大藤治郎

又訂

言よまでもない。

×

「日本人に」
「わからない」詩なんか、たとへ「その」本国では傑作であらうと、「日本人にとっては」要点設文の価値さへ疑はしい。

日本人には「アドニス」や「エンデイミオン」は長屋だ。アリストトルの「詩学」に到っては長屋だ。アンテの「神曲」だって意味さへ明瞭でない。

てところどころの燭燭の明りだ。ゲーテのある詩、佛蘭西仏伝誌の詩、江戸河逝である。

「人生の不明なところにだけ詩がある」や